



鶴川第二中学校

鶴二中だより

6月「ふれあい月間」特別号

TEL042-734-4343

FAX042-735-2089

町田市では6月を「ふれあい月間」として、「いじめを防ぐ・いじめに気付く・いじめから守る」の取組を進めています。本校でも、生徒に「学校 みんなが安心して過ごせるようにするために」リーフレットを配布するとともに、「いじめを防ぐ」ための学びの一つとして、朝礼や学活などでいじめを防ぐための話をしたり、いじめに関する道徳授業などを行ったりしているところです。

今回は、昨年度の朝礼で生徒に向けて話をしたものをもう一度掲載し、考えてもらう機会を設けました。ぜひ、ご家庭でも、リーフレットなどをご活用いただきながらお子様と安心して学校生活を過ごしていくためにお話いただければと思います。

「 違いを大切に 」

小 島 千 恵

今回は「ダンボ」のお話です。皆さんは「ダンボ」の話を知っていますか？ 小さいころに絵本などで見た人は多いのではないのでしょうか。ディズニーランドのアトラクションにもあります。少しお話しすると、

ダンボは、象の赤ちゃんです。ただ、普通の象と違うところがありました。耳がとても大きかったのです。

「普通と違う姿のダンボは人間の子供にからかわれたり、嫌がらせをされたりといじめられます。仲間の象たちからも仲間外れにされます。しかし、ねずみのティモシーだけは違いました。ダンボを優しく励まし、意地悪な象たちにも立ち向かってくれました。そして、その普通とは違う「大きな耳」は空を飛べるという素晴らしい能力だった。」というお話です。

さて、この「ダンボ」のお話から2つのことを皆さんに考えてほしいです。

まず1つ目は、ダンボをからかっていじめる人間の子供や仲間外れにする象と、それに対して、ダンボをサポートするねずみのティモシーたちのことです。

皆さんは、どう思いますか。皆さんならばどの立場に立つのでしょうか。からかう人間の子供、あるいは仲間外れにする象ですか。それとも、ねずみのティモシーですか。皆さんの周りにもダンボの話と似たようなことは起こっていませんか。きっと困っている人がいます。さあ、皆さんはどの立場に立つ人でありたいですか。

2つ目は、「大きな耳」そのものです。皆さん一人ひとりにも「大きな耳」があります。言い換えると、それは一人ひとりがもつ個性や性質や個々の能力のことです。将来それが花開くと自分の強みになるものです。まず、自分の「大きな耳」に気づくことが大切です。実は、学校で皆さんが毎日学ぶことは、それを発見したり伸ばしたりすることにつながっているのです。



自分や他人がもっている性質や能力、特徴を人と違う「ダメなもの」と決めつけたり、からかいの対象にしたりしないでほしいのです。それは、将来輝く宝石の原石かもしれないのです。そして、自分のもっている原石に気づき、磨いて光らせることは、皆さんの将来を明るくすることにつながるのです。

自分を大切にし、他人も大切にする、これができる皆さんであると信じています。人を傷つけることは絶対にあってはなりません。もう一度自分の心に向けて確かめてください。

そしてもうひとつ、

「ふれあい月間」だけではなく、いつでも大切にしてほしいと思っていることは「言葉」です。

「言葉の大切さ」

誰かに言われてうれしい言葉・・・

こうした素敵な言葉が校内でたくさん交わされるようになると、私たちの学校はさらに良い学校に向かっていくと思っています。反対に、言われて嫌な気持ちになる言葉も残念ながら耳にします。

校長先生は言われて嫌な気持ちになる言葉は、この学校から、絶対になくしていきたいと考えています。

言葉は、人を元気にさせたり、嬉しい気持ちにさせたり、勇気づけたりできます。しかし、言われて嫌な気持ちになる言葉は、叩いたり蹴ったりする暴力よりも、もっと人を傷つけることがあります。

人を傷つける言葉を鶴川二中からなくし、元気になる言葉、心が温くなる言葉を広げていきましょう。困っている友達がいたら、助けてあげたり一緒に考えてあげたりする優しい気持ちをもってください。誰もが安心して楽しい気持ちで過ごせる学校をみんなでつくっていきましょう。



・ 鶴二中生ががんばっています 《敬称略》

・ 6月8日(日)に開催された鶴川2丁目団地自治会まつりでは、本校から4名の生徒がボランティアとして活動に参加し地域に貢献しました。